



北海道・札幌 2030 オリンピック・パラリンピック 冬季競技大会概要(案) 更新版

ダイジェスト版 +Plus

Hokkaido Sapporo 2030 Olympic And Paralympic Winter Games



北海道・札幌

冬季オリンピック・
パラリンピック
の招致を目指しています



このパンフレットは、北海道・札幌 2030 オリンピック・パラリンピック冬季競技大会概要(案)更新版によく寄せられる質問と回答、大会運営の見直しを追加し、短くまとめたダイジェスト版です。

2030



© アフロスポーツ/JOC

世界が驚く、冬にしよう。

みんなで冬季オリンピック・パラリンピックを北海道・札幌に。

誰も見たことがないような、新しいオリンピック・パラリンピックで、世界中の人々を驚かせたい。

天然雪に恵まれた舞台から生まれる、アスリートたちの卓越したパフォーマンス。

地球を守り、自然と美しく調和する、これからの都市と暮らしの在りかた。

あらゆる違いを尊重し、認め合う社会。

これらを実現し、世界と分かち合う。

これまでの常識を超えたオリンピック・パラリンピックに、みんなで挑戦し、ともに作りあげていきます。



大会コンセプト

天然雪を守り、
北海道・札幌から、
世界に誇れる大会に

CLIMATE POSITIVE

私が自分らしく
生きられる
まちで、社会で、
誰もが参加できる大会に

INCLUSIVE
SOCIETY

北海道・札幌が
挑戦する、
私たちの新しい大会に

GAMES MODEL

子どもたちの声

(小学校で行った出前講座での意見)



まだ北海道や札幌を知らない世界中の人に、いっぱい魅力を知ってほしいと思います！
恵まれた雪は、実は世界に誇れることだと思います。

私は競技でスキーをやっています。2030年大会に出場できるかもしれないし、出られなかったとしても、地元のスキー場で、トップレベルの選手とプレーを見てみたいです。



お金のことや大会期間中の混雑など、色んな心配があります。でも一つ一つ対策を考えたらうえで、札幌で開催してほしいな、と思います。
お金じゃない価値がきっとあると思います。



オリンピック

Olympic

※北京2022大会の競技・種目を参考に想定

開催期間 2030年2月8日(金)～24日(日)の17日間(想定)

競技数 7競技109種目

パラリンピック

Paralympic

※北京2022大会の競技・種目を参考に想定

開催期間 2030年3月8日(金)～17日(日)の10日間(想定)

競技数 6競技80種目

会場配置計画



○ オリンピック P パラリンピック

競技会場	競技会場	競技会場
① 西岡バイアスロン競技場	○ バイアスロン P パラバイアスロン/パラクロスカントリースキー	
② 長野市ボブスレー・リュージュパーク	○ ボブスレー・ボブスレー ボブスレー・スケルトン/リュージュ	
③ 月寒体育館	○ カーリング P 車いすカーリング	
④ 新月寒体育館	○ アイスホッケー 1 P パラアイスホッケー	
⑤ 真駒内公園屋内競技場	○ アイスホッケー 2	
⑥ スポーツ交流施設つどいむ	○ スケート・フィギュアスケート スケート・ショートトラック	
⑦ 帯広の森屋内スピードスケート場	○ スケート・スピードスケート	
⑧ 大倉山ジャンプ競技場	○ スキー・ジャンプ スキー・ノルディック複合ジャンプ	
⑨ 白旗山競技場	○ スキー・クロスカントリースキー スキー・ノルディック複合クロスカントリー	
⑩ ニセコエリア	○ スキー・アルペンスキー(滑降、スーパー大回転、複合) P パラアルペンスキー	

競技会場	競技会場	競技会場
⑪ サッポロテイネスキー場	○ スキー・アルペンスキー(大回転、回転)	
⑫⑬ 札幌国際スキー場	○ スキー・フリースタイルスキー/スキー・スノーボード (スロープスタイル、パラレル大回転、クロス) P パラスノーボード	
⑭⑮⑯ さっぽろばんげいスキー場	○ スキー・フリースタイルスキー/スキー・スノーボード (ハーフパイプ、モーグル、エアリアル)	
⑰ 市内既存施設	○ スキー・フリースタイルスキー/スキー・スノーボード (ビッグエア)	
非競技会場		
O+C M P 札幌ドーム	○ 開会式/閉会式/メダルプラザ P 開会式/閉会式/メダルプラザ	
MPC 札幌コンベンションセンター	○ メインプレスセンター	
IBC 新展示場	○ 国際放送センター P 国際放送センター(メインプレスセンターの機能を含む)	
OV1 市営住宅月寒団地	○ 選手村	
OV2 アパホテル&リゾート(札幌)	○ 選手村	

※この計画は現時点での予定です。今後、変更となる場合があります。※スキー場については、フィニッシュエリア別に会場数をカウントしています。



大会のためだけに新しい施設を作るのはやめてほしい。大会後には使われない無駄な施設になるのでは？

大会のための新しい施設は作りません。一部の施設は建替えや改修をしますが、日ごろから市民に利用されている施設を今後も長く利用していただくために、バリアフリー化や老朽化対策をするものであり、大会後も無駄にはなりません。



大会がもたらすまちの未来

札幌らしい持続可能なオリンピック・パラリンピック

～人と地球と未来にやさしい大会で新たなレガシーを～

スポーツによる健康で活力のある社会

スポーツ・健康

2030年 みんなが健康であり続けるために

【具体的な取組】

- 日常の運動量増加に向けた取組強化（ウォーキングの推進等）
- 子どもの運動習慣づくり プレーパークの推進
- ウォーカブルシティ（居心地がよく、歩きたくなるまち）の推進
—誰もが安全安心・快適に回遊できる地上・地下の重層的な歩行者ネットワークの整備

大会の効果

オリンピック・パラリンピックの機会を活用してスポーツを始めよう!と思う人が増加するような取組を官民共同で加速化

レガシー

LEGACY

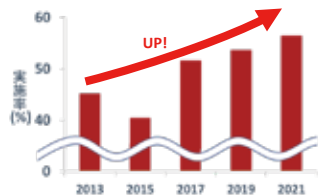
ウォーキングにとどまらず
冬季スポーツ参加人口増加
により健康寿命が延伸



東京2020大会の事例

- 国民のスポーツ実施率が上昇
- ボランティア参加への意識が向上

国内の成人の週1日以上スポーツ実施率推移



全ての人にやさしい共生社会の実現

社会

2030年 誰もが暮らしやすいまちに

【具体的な取組】

- 生活関連経路のバリアフリー化
- 一部駅において再生可能エネルギーを利用したヒーティングの導入
- 心のバリアフリーにおける企業や地域の取組に係る認証制度の導入

大会の効果

札幌初のパラリンピック開催がバリアフリーの行政・民間投資を誘発。大会前後のパラアスリートとの交流を通じて障がい者理解が促進

レガシー

LEGACY

まち全体のバリアフリーが加速するとともに、心のバリアフリーが実現した誰もが暮らしやすいまちへ



東京2020大会の事例

- 東京都内にユニバーサルタクシー（UDタクシー）が普及
- 東京都民の共生社会の意識が向上

東京都内のUDタクシー車両数の推移



世界に躍進する魅力あふれるまちづくり

経済・まちづくり

2030年 世界中から訪れたいくなる憧れのまちに

【具体的な取組】

- スキー場の魅力向上
- 冬季観光コンテンツの充実
- ブランド力向上や周遊促進に向けた事業者連携の推進

大会の効果

世界中が注目するオリンピック・パラリンピックの機会を活用して北海道・札幌ブランドを世界中に発信

レガシー

LEGACY

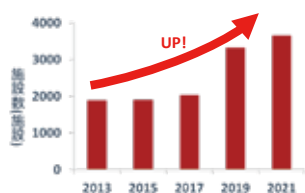
大都市スノーリゾートとしてのブランドを確立し、年間を通じた国内外からの観光需要増加



東京2020大会の事例

- 東京都内の旅館、ホテル数が増加
- 競技会場に案内ロボットを導入

東京都内の旅館・ホテル数の推移



次世代が豊かな自然を享受できるまち

環境

2030年 ゼロカーボンで世界をけん引するまちに

【具体的な取組】

- 新築施設のZEB化や再生可能エネルギーの導入拡大
- 道内で生み出される再生電力の市内利用

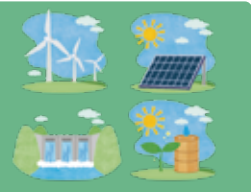
大会の効果

大会のショーケース的な役割とクライメートポジティブな大会が世界の最先端環境技術を集積させ、まちの再生導入が促進

レガシー

LEGACY

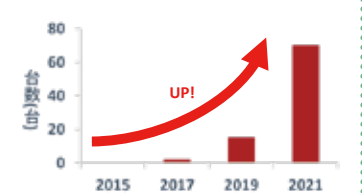
大会で再生可能エネルギー利用の社会実験を実施し、積雪寒冷地における新たな環境技術を積極的に導入



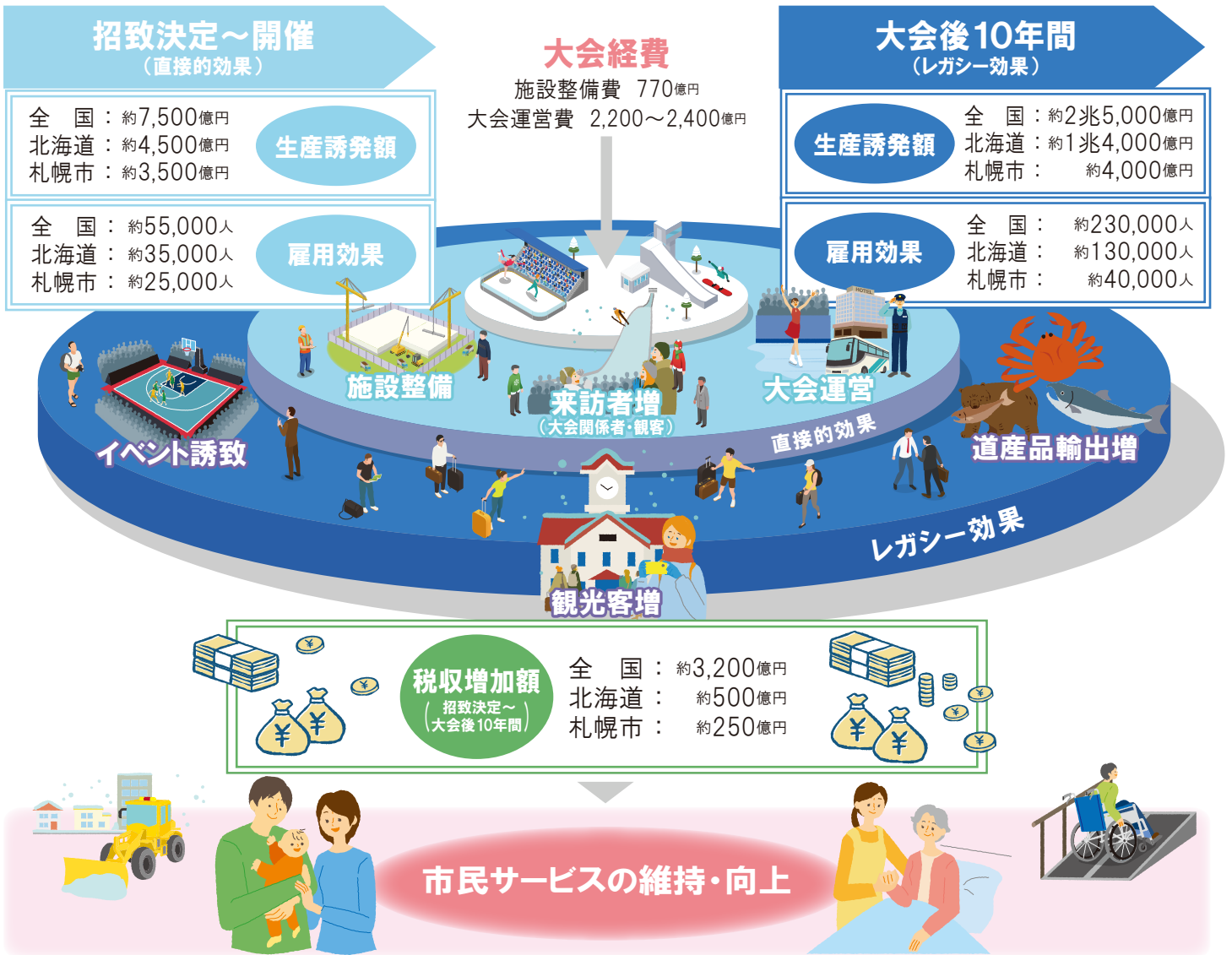
東京2020大会の事例

- 水素エネルギーの普及
- 大会で排出するCO₂についてカーボンニュートラルを達成

燃料電池バスの保有台数推移(都営バス)



大会開催に伴う経済波及効果



どうして札幌でオリンピック・パラリンピックを招致しているの？

世界最高峰の舞台で、アスリートが挑戦する姿を目の当たりにできるオリンピック・パラリンピックは、見る人や支える人の心を動かす力があります。大会を通じて、人種や性別、国籍の垣根を越えた多くの人々の力と思いを一つに束ね、様々な課題を解決し、持続可能な社会を目指す絶好の機会になります。都市と自然が共存する雪のまち札幌で大会が実現することで、市民が愛着と誇りを持ち、将来も住み続けたい、誰もが訪れたいと思うまちを創り上げたいと考えています。

オリンピック・パラリンピックを開催しなくても、バリアフリー化などのまちづくりは進むのでは？

大会の開催は、国内外から民間投資を呼び込み、バリアフリーをはじめとした札幌市のまちづくりの取組を加速させる効果があると考えています。

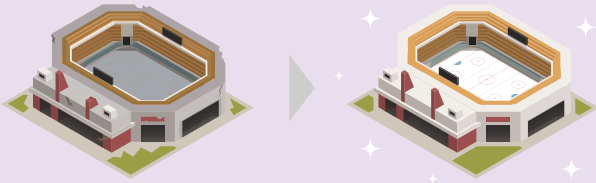
大会経費

オリンピック・パラリンピックにかかる大会経費

施設整備費

負担者：各施設の施設所有者

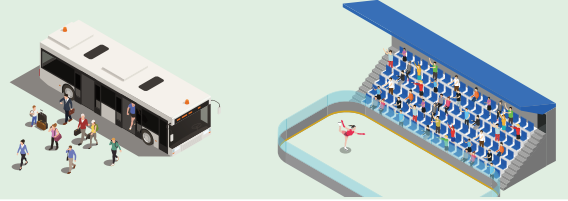
- 老朽化した施設の更新・改修に要する費用（機能更新・老朽化対策・バリアフリー改修など）
- 大会のためだけの整備は行わない
- 大会が無くても将来かかる費用



大会運営費

負担者：大会組織委員会（民間資金）

- 大会を運営するためにかかる費用（競技運営、開閉会式、輸送宿泊、警備、スタッフ人件費など）
- 大会を開催することによって集まる民間資金（スポンサー収入、チケット収入など）によって賄われる
- 原則、税金は投入しない計画



施設整備費（本設費用）の試算

施設整備費合計	札幌市実質負担額
770億円	490億円



大会が無くても将来かかる費用

※札幌市所有の施設の建替えや改修のための費用として札幌市が負担（一般財源＋市債）

■主な施設整備内容



大会のためだけの整備は行いません

【新月寒体育館】



アイスホッケー会場

※写真はイメージです。

400億円（札幌市負担：220億円）

老朽化した月寒体育館を建替え

【大倉山ジャンプ競技場】



スキージャンプ会場

90億円（札幌市負担：90億円）

ラーズヒルにノーマルヒルを併設（デュアル化）

【市営住宅月寒団地】



選手村

※写真はイメージです。

190億円（札幌市負担：110億円）

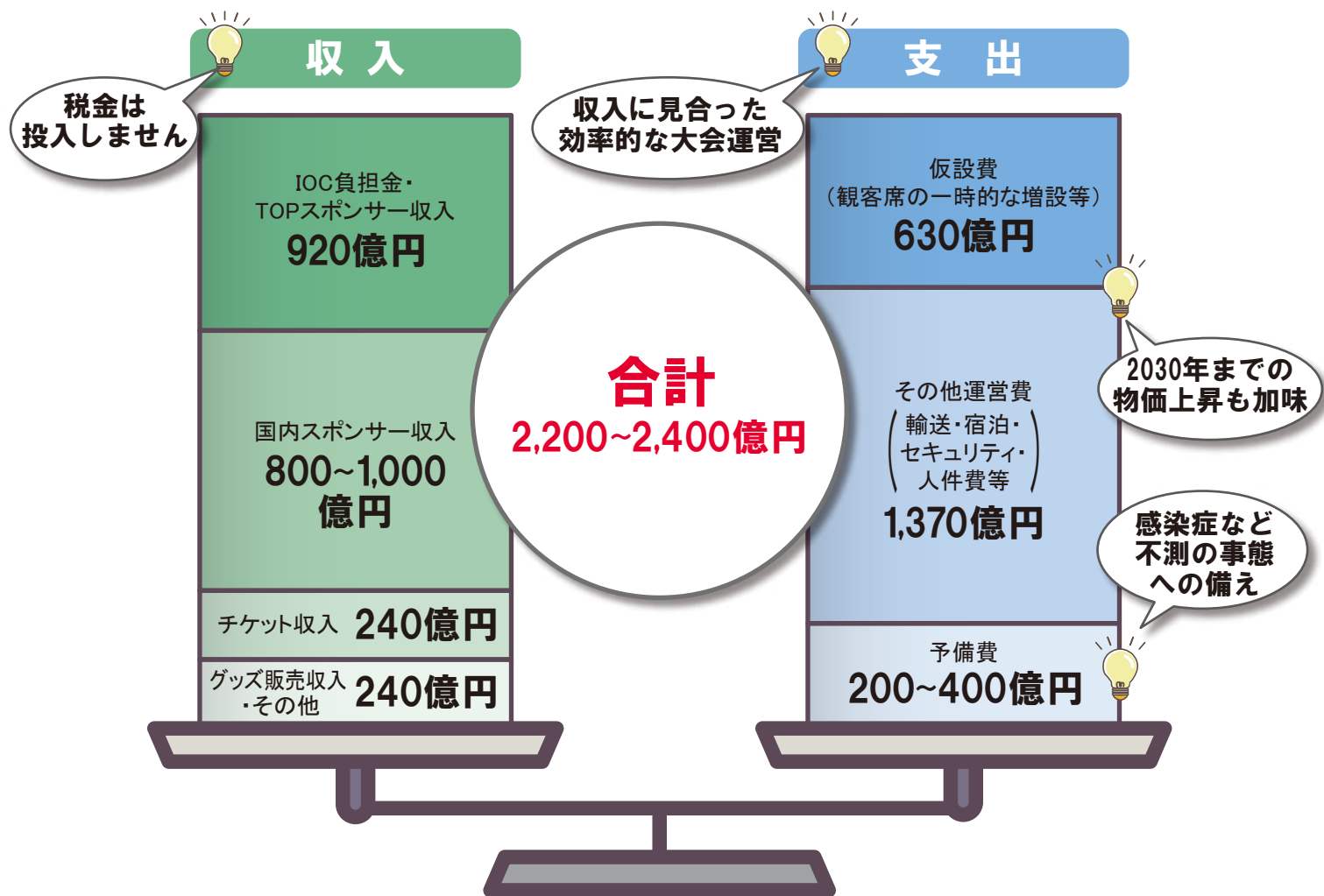
市営住宅の集約、建替え



大会に使うお金があるなら、除雪や福祉などほかの施策に使ってほしい。

札幌市の税金を充てる「施設整備費」は、老朽化した建物の建替えや改修のための費用であり、大会が無くても将来かかる費用です。また、「大会運営費」は、大会が開催されることで民間企業から投資される資金で賄うものであり、税金ではないため除雪や福祉などの市の施策に充てられるものではありません。





※IOC=国際オリンピック委員会



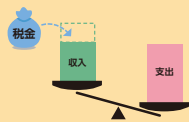
東京2020大会では招致決定後に経費が大きく増加したけど、札幌は大丈夫？



東京2020大会の立候補ファイルの予算は、他都市との比較をやすくするため、仮設費の一部やセキュリティ対策費などが含まれておらず、IOCが求める基本的な項目のみを計上していました。北海道・札幌2030大会の予算は、東京2020大会の必要な経費をすべて盛り込んだ後の予算を参考に試算しています。また、東京2020大会とは異なり、招致決定前からIOCと対話しながら経費を検討しているため、招致決定後に大幅に増加することはないと考えています。



本当に税金を投入しないで開催できるの？
資金が不足したらどうするの？



不測の事態に備え、予備費を200~400億円計上しています。また、収入に伴わない経費の増加があった場合には、大会の簡素化などにより、支出を削減して対応します。



大会運営の見直し(クリーンな大会を目指して)

東京2020大会の一連の事案による大会招致への市民等の不安や不信感の高まりを受け、クリーンな大会運営の実現に向けて「大会運営見直し案」の策定を進めています。有識者からなる検討委員会での議論も踏まえ、現時点での見直し案の内容を示した中間報告を7月に公表しました。見直し案の策定に向けて、引き続き検討委員会で議論を行うことに加え、市民の皆様との対話を行っていきます。

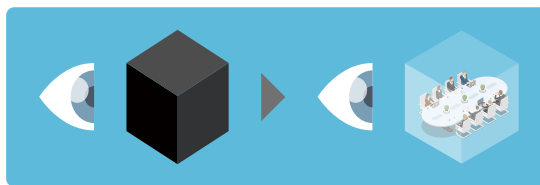


東京2020大会のような不正がまた起こるのでは？



意思決定プロセスを見える化し、内外から組織委員会を監視・監査することで、不正の発生を防止します！

- 一部の理事を公募により選考
- 積極的な情報開示とタイムリーな情報発信
- 第三者が監視・監査できる体制を構築



広告代理店との関わりは今後どうなるの？



広告代理店との関係を見直し、組織委員会がしっかりとコントロールします！

- 民間企業出向者の人材配置ルールの設定
- スポンサー選定プロセスの透明化
- 業務を適切に切り分け、原則競争入札の実施



開催地が一方的に不利益を被るような契約をIOCと結ぶことになるのでは？



現在の招致プロセスでは、開催地決定までにIOCと対話を重ねることができます！

東京2020大会とは異なり、現在は候補都市とIOCが対話を重ねたうえで開催が決まるプロセスに変更されています。重要事項についてもIOCと対話を重ねていきます。



札幌市の冬季オリンピック・パラリンピック招致に関する取組については
下記URLまたは右のQRコードからご覧ください
<https://www.city.sapporo.jp/sports/olympic/menu.html>

※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です



令和5年(2023年)7月発行
編集・発行
札幌市スポーツ局招致推進部調整課

〒060-0002
札幌市中央区北2条西1丁目 ORE札幌ビル9階
TEL.011-211-3042 FAX.011-211-3048

